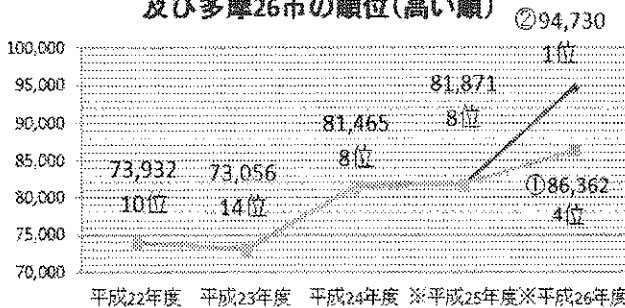


また国民健康保険税の値上げですか？Q&A

(以下グラフ・表は、市の資料を基に作成しています)

市民一人あたりの平均保険税(円)
及び多摩26市の順位(高い順)



★今でさえ高過ぎるのに・・・？

国分寺市は国民健康保険運営協議会に対し、平成24年度から連続した値上げ中にもかかわらず、再び「国民健康保険税の改定(値上げ)について」諮問しました。

※平成25年度は当初予算保険税総額

※平成26年度は①決定済値上げの激変緩和が終了した保険税総額②市が運営協議会に示したモデルの値上げ(総額2.4億円)を行なった場合の保険税総額を、それぞれ平成24年度の年度平均被保険者数29,427人で除した数値

※平成25年度、26年度の順位は、他市の保険税(料)額を24年度ベースにより比較した順位

★昨年値上げして、段階的に値上げしているのに、またですか？

市は、改定(値上げ)を行う必要性について①平成21年度決算から24年度決算までの累積の歳入不足(赤字)約7億円の解消。②後期高齢者支援金と介護納付金の支出増加に対応した国保税財源を確保するためとしています。

しかし、24年度に値上げを強行したにもかかわらず赤字はさらに拡大しています。市は赤字の原因分析を行っていないばかりか、議会の中では、市の対応が原因で赤字が生まれていることさえ指摘されています。市民に対する説明責任が求められています。

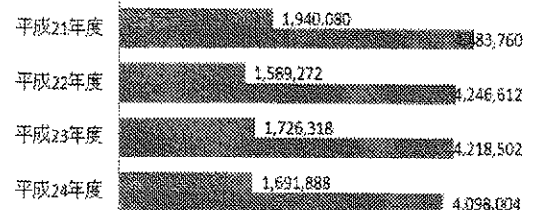
★いつまでに決めるんですか？

今年度の国民健康保険運営協議会の初回(平成25年8月22日)では、議論はこれからという状況の中で、10月から11月に答申を出すよう進めるとしています。

★加入者の状況はどうなっているんですか？

国民健康保険の加入者は、非正規労働者、自営業、農家、年金生活者、無職者など、低所得者が中心で、市民全世帯の平均所得の半分以下の所得です。所得が減る一方、税や社会保険料、公共料金も上がり、生活苦世帯が多数になっています。

■国保加入者一世帯あたりの平均所得(円)
■市民一世帯あたりの平均所得(円)



●短期保険証交付・未交付状況(平成25年6月1日時点)

	世帯数	人数
未交付の方	211	245
交付の方	417	800
短期保険証対象者数の合計	628	1045
国保加入者数の合計(25年4月1日)	18339	29094
市民の人口合計(25年4月1日)	56084	118190

現在、保険税が支払えずに、国民健康保険の被保険証が手元に届いていない市民が、211世帯245名もいます。

★低所得者への軽減はないのですか？

法律で定められた軽減措置はあります。しかし他市との比較を見てみると、市の国保税は低所得者ほど順位が高く（負担が重い）、所得が上がるほど順位が下がる（負担が軽い）のが特徴です。低所得者に冷たい市政だと言えます。

●世帯モデル別 多摩26市の平成25年度国民健康保険税(料)の比較

モデル別	単身25歳 給与収入98万円	単身25歳 給与収入300万円	夫42歳給与収入200万円 妻38歳給与収入98万円	夫42歳給与収入567万円 妻38歳給与収入98万円	夫68歳年金収入100万円 妻63歳年金収入77万円	夫68歳年金収入240万円 妻63歳年金収入77万円
所得	【所得:33万円】	【所得:192万円】	子二人15歳・12歳 【夫所得:122万円】 【妻所得:33万円】	子二人15歳・12歳 【夫所得:399万4千円】 【妻所得:33万円】	【夫所得:0万円】 【妻所得:7万円】	【夫所得:120万円】 【妻所得:7万円】
軽減策	7割軽減あり	軽減なし	2割軽減あり	軽減なし	7割軽減あり	軽減なし
平成25年度国保税(円)	11,000	122,900	186,200	387,900	25,800	128,500
多摩26市の順位(高い順)	7	22	5	22	3	14

★国分寺市は何を考えているのですか？

副市長は「一般会計からの繰り入れ（市の補助金）を抑えてきたことは事実」（平成25年9月10日 市議会厚生委員会）と答弁し、市の責任後退を正当化しています。

しかし、24年度の値上げを決めた際に、同時に出された「税収増のみで対応できない歳入不足に関しては繰出し金（繰入金と同義語）など～を講じていただきたい」との運営協議会の付帯意見を完全に踏みにじっています。国民皆保険を守るためにも、少なくとも他市並に補助金を増やすことが必要です。

●一般会計からの繰入金(市の補助金)

	繰入金額(千円)	多摩26市の順位
平成22年度	1,327,299	16位
平成23年度	1,218,007	21位
平成24年度	1,113,988	22位
平成25年度	1,114,110	

※多摩26市の順位は加入者一人当たりの繰入金額順位(高い順)

★国民皆保険ってどういう制度ですか？

国や自治体が、憲法25条「国はすべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」に基づき、誰でもいつでもどこでも健康保険の適用により、適切な医療を保障する制度です。国民皆年金と併せて日本の社会保障制度の根幹をなします。その中でも国民健康保険は最後の砦だと言われています。

★でも財源がなければ、どうしようもないと思うのですが？

国分寺市では国分寺駅北口再開発に莫大な税金を投入しているので、財政が厳しいことは確かです。しかし、一方で地方交付税の代替措置である臨時財政対策債を過去9年間で83億円放棄しています。大型開発優先の市政転換と併せ、財源の確保に向けた声を上げていきましょう。

☆値上げをストップさせるために

- ①多くの市民にこの事実をお知らせしよう。
- ②市議会への陳情署名をたくさん集めよう。